

令和2年度
事業計画書

公益財団法人 帆船日本丸記念財団

目 次

1	事業運営の方針	3
2	帆船日本丸事業	4
3	横浜みなと博物館事業	5
4	みなとの賑わい創出事業	7
5	緑地管理及び研修施設事業	9
6	集客増に向けた重点取組	9
7	組織運営の質的向上に向けた取組	11
8	事業一覧表	12

令和2年度 事業計画

令和2年度は、第3期指定管理期間（平成28年度～令和2年度）の5年目となります。第3期の指定管理者の応募の際に提出した5年間の事業計画書に基づき、今年度も年次毎の事業計画を作成し、着実に実施してまいります。また、第3期は、パートナーである株式会社JTBコミュニケーションデザインと共同事業体を構成して事業を進めており、令和2年度もJTBコミュニケーションデザインと協働して、施設の新たな魅力向上や集客向上に向けた施策を市と協議しながら積極的に推進します。

帆船日本丸は、長期にわたる船員教育や我が国の海運業の発展に貢献したこと及び日本国内に現存する希少な「リベット構造」を持ち、国内開発された船用大型ディーゼルエンジンを搭載するなど貴重な海事遺産であることなどが評価され、平成29年9月15日には国の重要文化財に指定されました。引き続き、市と協力して文化財の価値を保全しつつ、総帆展帆、海洋教室など帆船日本丸を活用した事業を積極的に推進します。

また、帆船日本丸は船齢90年を迎え、文化庁の補助金を得て、大規模修繕工事が行われましたが、船体の劣化が進んでいる箇所が残っており、今年度はローアングルヤード2本の交換を含めた修繕工事を行います。

横浜みなと博物館では、常設展示の魅力アップを図るとともに、9月に「海の工事現場 はたらく船と水中ロボット」（仮称）を、2月には「日本の練習船～海の上の学校」（仮称）等の企画展を開催します。

また、横浜市が横浜みなと博物館内に一昨年3月27日に開設した常設の「柳原良平アートミュージアム」では特集展示を3回開催するとともに、PRを積極的に行うなど、集客アップに向けた取組を引き続き進めます。ミュージアム・ショップでは柳原良平グッズに関して、工夫を凝らした販売促進を図ります。

日本丸メモリアルパークでは、アリーナでのイベントをはじめ、横浜市や企業、団体、NPO等と連携したイベント等を開催するとともに誘致を進めます。

みなとみらい21地区という賑わいエリアの特性を踏まえ、多様な主体と連携した事業に取り組み、帆船日本丸と横浜みなと博物館、日本丸メモリアルパークの一体的な運営管理を行い、賑わいづくりと集客増・収入増を図ります。

1 事業運営の方針

(1) 年次計画の目標

目標は、帆船日本丸及び横浜みなと博物館の有料入場数 9.7 万人、日本丸メモリアルパーク利用者数163万人、来校数636校とします。
また、お客様満足度97%以上を目指します。

(2) 利用者の拡大と一層のサービスの向上

お客様に気持ち良くご利用いただくために、おもてなしの心で常に改善を行い、サービスの向上に取り組みます。利用者ニーズを的確に把握した取組を展開するとともに、引き続き来場者の増加が期待される、団体と訪日外国人に向けたキャンペーンやサービス向上策を講じます。

施設運営の大きな特徴である、延べ参加人数 3,531 人（展帆 1,168 人、甲板 498 人、日本丸ガイド 432 人、博物館 1,433 人）を超えるボランティアとの協力体制を引き続き充実させます。

また、JTBグループのノウハウを活用し、施設の魅力向上に向けたデータ収集や分析を行い、新たなプロモーション施策とサービスを提供します。

(3) 安全・安心して利用できる施設管理

常時パーク内を巡回し、子供や高齢者、障がい者にも安心して利用していただけるよう施設管理を行います。また、地震や津波、風水害等の発生時には、お客様の安全を第一にした避難誘導を行うなど必要な措置を迅速に講じます。

訓練センターは、災害時における帰宅困難者一時滞在施設としての役割も果たしていきます。

(4) 料金体系の見直し

利用実績やイベント実施、繁忙日等を考慮しながら、適宜キャンペーン料金を設定するなど柔軟な料金体系を設定します。お客様のニーズに応え、帆船日本丸・横浜みなと博物館のどちらか1つの施設を見学できる単館券の発行を継続します。また、高校生料金は小中学生と同じ料金帯の設定で継続します。

小・中・高校生料金は、引き続き毎週土曜日を100円の特別料金で実施します。この料金収入は、子供たちの社会貢献活動の一つとして周知し、帆船日本丸進水100年に向けた保存事業に使用します。

2 帆船日本丸事業

平成30年度及び令和元年度の2か年で、横浜市が実施する大規模修繕工事が終了しました。しかしながら、帆船日本丸は船齢90歳を迎え、船内各所に要修繕・整備箇所が残っています。船員経験のある職員が日々の船体整備に努めると共に、今年度も引き続き保存において行うべき工事や修繕の方法について検討し、実施していきます。

さらに、平成31年3月に作成された重要文化財「帆船日本丸保存活用計画」に基づき、保存・活用していくとともに、横浜市と協力し、内容について検証・検討を行います。

また帆船日本丸は、海洋教室等を通じて、海・船・港に関する知識を学ぶための教育施設でもあることから、子供から大人までが楽しめる参加・体験型教育プログラムを実施し、帆船日本丸保存について、より深い理解をしていただけるよう努めます。

加えて、帆船日本丸をより多くの方に御覧いただくため、定期的な船内展示の更新、特別見学会等を実施し乗船者増に努めます。さらに、帆船日本丸を観光資源として活用する方策についての検討を進めていきます。

(1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

ア 日常保守点検

公開区域を始めとした船内の安全点検、清掃、真鍮磨き等、美観保持等の整備に努めます。「保存活用計画」に基づいて船体鋼材の発錆部整備、木甲板や船体木部の整備及びマスト、ヤード、その他の帆走艀装の点検・整備並びにセイルの新規作成を行います。

イ 年次船体整備等

船舶検査受検工事に加え、ローアゲルンヤード交換工事、マストを固定するクサビの更新、船体構造部材、帆走艀装品及び木甲板等の船体木部に関する要修繕箇所を抽出し、小破修繕工事を行います。

ウ 災害防止

船内防災センターにおいて、火災や地震等の災害対策及び不法侵入者の防止に備えた24時間体制の監視を行います。



ローアゲルンヤード

(2) 公開事業

業務仕様書にあるとおり、船内を年間250日以上一般公開します。船内展示室の展示内容を定期的に更新します。従来のロープ作成教室や特別見学会に加えて、船内でスタンプラリーも新しく実施し、帆船日本丸のさらなる魅力アップに努めるとともに、リピーター及び新たな乗船者の増加を図ります。

現役時代の帆船日本丸への乗船経験や海上勤務経験があるガイドボランティアと

連携し、無料の船内ガイドサービスを毎日実施し、乗船者に船内見学をより楽しんでいただき、満足度向上に努めます。

今年度も展帆ボランティアの協力を得て、総帆展帆を実施いたします。総帆展帆を始め、祝日の満船飾や、毎夜ライトアップとイルミネーションの点灯を実施することにより、みなとみらいを訪れる方々に、帆船日本丸の美しい姿を御覧いただき、みなとみらい21地区の賑わい創出に努めます。

(3) 青少年錬成事業等

帆船日本丸及び付属施設を活用して、青少年錬成の為の「海洋教室」、海洋教育としての「船の講座」、夏季の「小学生向けの自由研究教室」を開催し、海事思想の普及に努めます。また今年度から出張して船の講座や実習を行う「出前海洋教室」も行っていきます。



小学生向けの自由研究教室

(4) その他

帆船日本丸の重要文化財指定に伴い、保存活用計画の運用を確実に実施するとともに、その検証を行います。また、附等の関連資料整理・保管方法について、横浜市と協議します。そして、帆船日本丸を観光資源として活用する方策について検討するとともに、外国人を含めた乗船者へのガイドブックを作成します。

3 横浜みなと博物館事業

開館30周年を経た横浜みなと博物館では、充実した常設展示、海・船・港をテーマとした企画展、子供から大人までを対象とした教育事業、また「柳原良平アートミュージアム」を活用した事業等を展開し、市民が横浜港をはじめ、海・船・港に親しむ多彩な機会を提供します。各事業を通じて積極的な広報活動を行い、当館の魅力を発信し、これまで以上に市民に親しまれ活用される博物館づくりと新しいファンの獲得を目指します。

また、多くの市民ボランティアとともに、展示や教育普及、アウトリーチ活動を通して、多くの人々が海や港、船に親しみ、興味をもつことができるように、体験的な教育プログラムを実施します。

そして、子供から大人、ファミリーまでが楽しめる博物館づくりに努め、リピーターと新しい入館者の増加を図ります。

(1) 常設展示事業

常設展示をより楽しんでいただくために、市民の展示案内ボランティアによる展示の案内、説明を毎日実施し、入館者の満足度向上とリピーターの確保に努めます。「学芸員のワンポイント展示解説」を引き続き実施して、展示内容の理解をより深めていた

だき、展示の魅力アップに努めます。また、博物館の調査研究及び資料収集活動をもとに、横浜港の最新情報を提供する「横浜港 TODAY」(仮称)展示を常設展示室内に新設し、横浜港の動静を入館者にお伝えします。製作から10年を経過した映像展示類については、計画的な展示整備を行い、お客様に良好な展示環境を提供できるよう努めます。

柳原良平アートミュージアムでは、時宜をとらえたテーマ、企画展との連動、また新たに寄託された作品を展示する特集展示を計3回開催し、より多くの柳原良平作品とその魅力を紹介し、ファンの拡大と博物館のリピーターの創出を目指します。



「船三代と横浜港」原画
2004(平成16)年 水彩
特集展示「横浜港今昔」(仮称)



London 2003(平成15)年 リトグラフ
特集展示「柳原良平が描くオリンピック開催都市」
(仮称)

(2) 特別展示事業

令和2年度は3本の展覧会を実施します。9月開催予定の企画展「海の工事現場はたらく船と水中ロボット」(仮称)では、私たちの生活を支える海のインフラ(港湾、洋上風力発電、海底ケーブルなど)の建設と保守の現場で活躍する作業船及び水中ロボットの魅力や役割を紹介します。

1月上旬から2月下旬にかけて、帆船日本丸進水91周年と船体整備作業にあわせてミニ展示「日本丸写真展」(仮称)を行います。帆船日本丸の建造から横浜誘致までの歩みや船内写真などを展示し、帆船日本丸について理解を深めていただくとともに、帆船日本丸公開休止中に来場されたお客様に、帆船日本丸船内を紹介します。

2月下旬からは、企画展「日本の練習船～海の上の学校」(仮称)を開催します。日本全国で活動する多彩な練習船とそこで行われている実習訓練(実技や座学)について紹介します。練習船の役割や構造、練習船での教育プログラム等について展示し、日本で行われている海事人材育成について市民の皆様に関心をもっていただくきっかけとします。

企画展名	会 期
企画展「海の工事現場 はたらく船と水中ロボット」(仮称)	令和2年9月19日～11月15日
ミニ展示「日本丸写真展」(仮称)	令和3年1月4日～2月21日
企画展「日本の練習船～海の上の学校」(仮称)	令和3年2月27日～5月9日

柳原良平アートミュージアム特集展示名	会 期
柳原良平アートミュージアム開設2周年記念展示「横浜港今昔」(仮称)	令和2年3月24日～6月28日
東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念展示「柳原良平が描くオリンピック開催都市」(仮称)	令和2年6月30日～11月15日
企画展「日本の練習船」連動展示「練習船特集」(仮称)	令和2年11月17日～ 令和3年3月21日

(3) 教育普及事業

春は大人向けのミナト散歩、夏は小学生向けの自由研究教室や船の工作教室、親子の海図教室、秋は大人向けの海図教室、春休みには親子の船の見学会などを行います。また、1年間を通して、横浜の海、港、船について学習する横浜の小学生向け体験型事業である「横浜みなとキッズクラブ」を実施します。入館者向けには、週末土日にリピーター増加のための事業を教育活動ボランティアの協力により行います。具体的には、土曜日には子供向けクイズラリーと船の折り紙教室を、日曜日にはファミリー向けとして好評なペーパークラフト教室、国民の休日にもペーパークラフト教室と折り紙教室を行います。大人向けのクイズラリーも6月と2月に実施します。

企画展開催中は関連施設見学会や講演会、クイズラリーなどを実施し、参加者が展示についてより深く、楽しく学ぶ機会を提供します。

4 みなとの賑わい創出事業

(1) 水辺の事業

ア シーカヤック体験教室

日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車道側水域において、NPO法人横浜シーフレンズと連携しシーカヤック教室を開催します。主に土日や祝日に開催する一般教室や子ども教室、ゴールデンウィークと夏休みに開催する人気の親子体験教室、加えて、リピーター向けに1日ツーリングコース、レスキュートレーニング講習、横浜港満喫ツーリングコースを開設します。

また、市内の大学との連携教室等を開催します。

イ カヌーポロ教室

NPO法人横浜カヌー倶楽部・横浜市カヌー協会と連携し、4月から10月までカヌーポロ教室を子供向け・大人向けに開催し、青少年育成と競技の普及を目指します。



カヌーポロ教室

ウ 帆船日本丸のライトアップとイルミネーション（再掲）

帆船日本丸では、毎夜ライトアップとイルミネーションの点灯を実施することにより、みなとみらい21地区の賑わい創出に努めます。

(2) パーク利用事業（イベント）

市民交流・リサイクル事業としてのフリーマーケットを初めとするイベントなどを定期的で開催します。また、横浜市のプロモーション事業やみなとみらい21地区との連携に取り組みます。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、様々なイベントへの協力を行うなどパークの有効活用を積極的に進め、集客及び収入増を図ります。

また、横浜開港祭2020など民間企業が主催するSUP（スタンド・^{アップ}・パドルボート）などの水上体験イベントでは、パーク内の水辺を提供し一層の賑わい創出を図ります。

(3) ミュージアム・ショップ事業

帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアム及び横浜にちなむ商品を取り揃え、来場者の思い出となる販売を目指して、引き続き、横浜みなと博物館内にショップを開設します。お客様ニーズの把握、分析や売上向上を検討するため、職員プロジェクトチームによるショップ検討委員会を継続運営していきます。



(4) レストラン・カフェ事業

施設開館日に飲食サービスを提供するため、横浜みなと博物館内にレストラン・カフェを運営します。また、みなとみらい21地区の魅力づくりの一役を担うため、夜間の営業や季節に応じたアリーナや芝生広場でのビヤガーデン等の営業も展開します。

5 緑地管理及び研修施設事業

(1) 緑地の維持管理・活用

ア 安全管理・美化

市民をはじめ一般利用者が安心して利用できる緑地として、樹木の剪定、芝生の刈込を定期的実施し、枯れ木、枯れ枝の処置を随時行うことで事故防止を徹底し安全管理を適切に行います。また、パーク内一円で日々の清掃作業を実施するとともに、ドック内及び水路においては水面清掃を行い公共施設としてふさわしい美観を維持します。

イ 撮影

製作会社や撮影担当者とのコミュニケーションを密にし、撮影日時への柔軟な対応、控室の提供、相談・受付体制の充実など、多様なニーズに応じていくことで、新規及びリピーターの利用促進を図ります。また、美しい内水域の都市景観の写真をWebサイトに掲載し、撮影候補地としてのパークを積極的にPRします。



芝生広場からの夜景は撮影の人気スポット

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

駅からのアクセスも良く、リーズナブルで使いやすいという利点を活かし、利用促進に向けた戦略的な取組を行います。また、予約開始時期6か月前から行えるサービスを継続するとともに、Webの予約受付の運用を試験的に開始し、利用者へのサービス向上に努めます。加えて、日頃からお客様のニーズを把握し、什器類の更新を計画的に進めるなど、より快適な環境を提供することで、リピーターや新規顧客を増やし、利用者及び収入増に繋がります。

6 集客増に向けた主な重点取組

(1) 魅力づくり・集客アップ会議の活用によるプロモーション施策の充実

毎月行っている月次決算である「魅力づくり集客アップ会議」において各事業の課題の早期発見及び共有を図り、事業ごとのワーキングへの迅速な反映と課題解決に向けた取組を行います。

また、課題解決にあたり共同事業体のパートナーであるJTBコミュニケーションデザインが持つ施設運営ノウハウ及びJTBグループが持つネットワークやリソースを生かし、具体的なマーケティング・プロモーション施策の継続実施、展開強化を図ります。

併せて、引き続きお客様の声（アンケート）による来場者データの収集・分析を迅速に行い、貴重なお客様の声へ応えるために具体的な施策展開に活かしていきます。

(2) 学校団体利用を主とした教育旅行マーケット及びマーケット別への取組

総入場者数の約 65%を占める個人利用者並びに約 35%の割合を占める団体利用法人のマーケティングの充実を図り、各マーケットに最適な情報発信、営業、プロモーション施策を推進し、集客増・売上増につなげていきます。

ア 教育旅行マーケット

学校団体利用誘致に向けたタイムリーな情報発信、地域別営業、プロモーションツールの充実等各種取組を推進するとともに、近隣諸施設や諸機関との連携を強化し、来校数 636 校の達成を目指します。

イ 企業・団体等法人マーケット

プログラム・コンテンツの企画提案ツールの充実を図り、旅行会社はもとより様々な企業・団体からの団体利用誘致のためのプロモーション施策の実施並びに既存法人の深耕拡大、新規開拓に向けた営業を実施します。

併せて、近隣諸施設や諸機関との連携を強化し、営業のブラッシュアップを図ります。

ウ 個人マーケット

利用者及び集客増のベースとなる個人需要拡大に向けたタイムリーで有効な情報発信並びにマーケティングの充実を図り、既存販売チャネルの深耕拡大・マーケットの変化に適応した新規販売チャネル開拓、拡大に向けた情報収集、マーケティング・プロモーション施策を実施します。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に合わせて、近隣諸施設や諸機関と連携し集客増を目指します。

エ インバウンド（訪日外国人客）マーケット

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催もあり、引き続き増加が見込まれる訪日外国人誘客のみならず在日外国人客も含めた外国人客集客増に向け、販売チャネル特性、国・地域特性に応じたタイムリーなプロモーション施策を実施します。

併せて、近隣諸施設・諸機関との連携を強化し、インバウンド旅行会社等の情報収集、連携営業を実施します。

また、外国人客へのサービス向上のための環境整備を推進します。

(3) 広報・宣伝への取組

「帆船日本丸・横浜みなと博物館・柳原良平アートミュージアム」ブランド周知向上のために、従来の広報・宣伝手法にとらわれず、よりタイムリーで実効性のあるパブリシティ・プロモーション展開を図っていきます。

併せて、マーケット変化に適応した取組を実施し、お客様の有益性・有用性を追求した情報発信を目指すとともに、情報発信の効率化・スピード化・グローバル化へのさらなる進化を図ります。

(4) 入館料金の柔軟な対応

単館券の販売動向を見つつ、春休みや夏休み等に家族やグループで気軽に、かつお手ごろな料金で来館していただけるような料金設定を検討・実施します。引き続き、大人の料金帯であった高校生の料金を小・中・高校生料金として維持し、修学旅行や東京都、神奈川県を中心とした高校生の来館者を増やしていきます。

(5) 連携イベントによる賑わいの創出

ア 横浜開港祭 2020 との連携（5月）

イ 横浜市及びみなとみらい21地区などが主催するイベント（通年）

ウ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に伴うイベントへの協力

(6) Webサイトの活用

昨年度完成したWebサイトのリニューアルによりスマートフォンでの使いやすさやWebアクセシビリティなどが格段に向上しました。これにより見やすく分かりやすい情報を素早く提供し、更なる利用者増を目指します。併せて、SNSなどの新たなツールの活用を進めます。

7 組織運営の質的向上に向けた取組

一人ひとりの職員がいきいきと活躍できるよう、引き続き次の取組を進めます。

(1) 風通しの良い職場づくり

管理職会議、職員ミーティングや日常業務での議論を通し、職場でよく話し合う風通しの良い職場運営を行います。

(2) 研修の実施

「コンプライアンス」や「個人情報保護」、「防災・緊急時対応」、「接客対応」、「スキル研修」等の研修を実施し、職員の意識や能力の向上を図ります。

(3) コンプライアンスの順守

研修や朝礼等によりコンプライアンス意識の向上を図ります。また、市職員を含めたコンプライアンス委員会の開催等により、コンプライアンスの順守を徹底します。

8 事業一覧表

(1) 帆船日本丸事業	
帆船日本丸公開 展示案内	<u>次の日を除く毎日公開</u> 月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） 年末年始 年次検査工事期間（*1月28日～2月26日） <u>ガイドボランティアによる船内ガイドを実施</u>
総帆展帆 （実施予定回数 13回）	4月19日（日）・29日（水・祝）、5月17日（日）・31日（日）、6月14日（日）、7月23日（木・祝）、8月23日（日）、9月6日（日）・22日（火・祝）、10月11日（日）、25日（日）、11月8日（日）・23日（月・祝） <u>展帆ボランティアの協力により実施</u>
親子展帆 （実施予定回数 13回）	同上 <u>総帆展帆のお昼休みに親子での縦帆展帆体験を実施</u>
満船飾 （実施予定日数 16日）	4月29日（水・祝）、5月3日（日・祝）・4日（月・祝）・5日（火・祝）、6月2日（火・開港記念日）、7月23日（木・祝）、7月24日（金・祝）、8月10日（月・祝）、9月21日（月・祝）・22日（火・祝）、11月3日（火・祝）・23日（月・祝）、1月11日（月・祝）・27日（水・進水記念日）、2月23日（火・祝）、3月20日（土・祝）
海洋教室	半日・1日コース（募集予定人数300人） 宿泊コース（募集予定人数1,600人） <u>カッター訓練、結索訓練、甲板磨き、登しょう訓練等を実施</u>
教育普及事業	【大人向け船の講座】 11月3日（火・祝）「トールシップの帆走艀装②」 <u>木製ゲルンマストの更新作業について解説</u> 1月17日（日）「トールシップの帆走艀装③」 <u>木製ジガーゲルンマスト及びヤードの更新作業について解説</u> 【子供向け船の講座】 7月18日（土）「船はどうして進むのだろう？」 <u>船が進む原理を分かりやすく解説</u> 【ミニ海洋教室】 7月30日（木）・31日（金）、8月1日（土）・2日（日） <u>船でロープを作成して、ロープワークを学ぶ</u> 【夏休み親子海洋教室（低学年）】 8月15日（土） 【夏休み1日海洋教室（高学年）】 8月21日（金）

	<p>【船内スタンプラリー】</p> <p>毎日曜日</p> <p>船内各部名称になった由来の動物を探してスタンプを集める</p>
(2) 横浜みなと博物館事業	
常設展示事業	<p><u>次の日を除く毎日公開</u></p> <p>月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日）</p> <p>年末年始</p> <p>収蔵庫・書庫燻蒸及び館内整備期間（1月28日～2月2日）</p> <p>横浜港の最新情報を提供する、横浜港 TODAY（仮称）を新設</p>
展示案内	展示案内ボランティアによる常設展示の説明
特別展示事業	<p>【企画展】</p> <p><u>企画展「海の工事現場 はたらく船と水中ロボット」</u>（仮称）</p> <p>会期 9月19日（土）～11月15日（日）</p> <p>関連行事 海の工事現場見学会10月、海の技術研究開発センター見学会10月、スペシャルトーク「洋上風力発電の工事現場ではたらく船」10月、海の工事現場クイズラリー9月～11月、担当学芸員による展示解説9月～11月</p> <p><u>ミニ展示「日本丸写真展」</u>（仮称）</p> <p>会期 1月4日（月）～2月21日（日）</p> <p><u>企画展「日本の練習船～海の上の学校」</u>（仮称）</p> <p>会期 2月27日（土）～5月9日（日）</p> <p>関連行事 記念講演会3月～4月、フロアガイド3月～4月</p> <p>【柳原良平アートミュージアム特集展示】</p> <p><u>柳原良平アートミュージアム開設2周年記念展示「横浜港今昔」</u>（仮称）</p> <p>会期 3月24日（火）～6月28日（日）</p> <p><u>東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念展示「柳原良平が描くオリンピック開催都市」</u>（仮称）</p> <p>会期 6月30日（火）～11月15日（日）</p> <p><u>企画展「日本の練習船」連動展示「練習船特集」</u>（仮称）</p> <p>会期 11月17日（火）～3月21日（日）</p> <p>※1月4日（月）～11日（月・祝）には柳原良平アートミュージアム七福神スタンプラリーを実施</p>
教育普及事業	<p>教育普及ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施</p> <p>横浜みなとキッズクラブ（小学生高学年向け／年間）</p> <p>同一メンバーでみなと博物館や帆船日本丸、内水域、横浜港をフィールドにした1年間を通じた体験型活動（年7回程度）</p> <p>キッズのためのクイズラリー（小・中学生向け／年間）</p>

	<p>高校生以下100円の土曜日の小・中学生向け事業</p> <p>楽しい船の折り紙教室（こども向け／年間）</p> <p>サンデー・ペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）</p> <p>大人のためのクイズラリー（大人向け／6月、2月）</p> <p>ホリデーペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）</p> <p>ホリデー船の折り紙教室（ファミリー向け／年間）</p> <p>なるほど！ミナト散歩－開港の道コース－（5月9日（土））</p> <p>モーターで動く船をつくる工作教室（8月1日（土）、2日（日））</p> <p>船と港の夏休み自由研究（8月8日（土）～10日（月・祝））</p> <p>親子の海図教室（8月16日（土））</p> <p>大人の海図教室（10月31日（土））</p> <p>春休み・親子の楽しい船の見学会（3月下旬）</p> <p>学芸員のワンポイント展示解説（偶数月）</p>
調査・研究・収集・出版活動事業	<p><u>横浜港を中心とした資料調査・収集・研究及び出版</u></p> <p>資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開及び展示・教育活動に反映。資料のデータベース化を推進</p> <p>出版活動</p> <p>博物館ニュース・年間行事予定表、企画展に合わせた図録等を出版</p> <p>資料貸出し・レファレンス</p> <p>写真、画像有料貸し出しを継続実施</p>
ライブラリー事業	<p>横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理・公開</p> <p>データベース化（約2万4千冊）推進及び蔵書情報をライブラリー、Webサイトで公開</p> <p>公開日・公開時間 博物館と同様</p> <p>利用方法（料金等） 博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのみ利用は1人100円。</p> <p>コピーサービス（有料）、レファレンスサービス実施</p> <p>良好な状態を維持するため、適宜保守点検実施</p>
その他	<p>小中学校の体験学習の受入れ</p> <p>館外での活動や外部団体と連携した事業の実施</p> <p>周辺区の教育事業や団体・企業の研修への出張講義など</p>
施設の貸出	<p>特別展示室やロビー等のスペースの貸出</p> <p>施設の有効活用と収入増を目指す</p>

(3) みなとの賑わい創出事業	
水辺の事業 シーカヤック教室（4月～3月）	<p>【NPO法人横浜シーフレンズと連携した体験教室の開催】 初級者向けコース 一般・子供半日教室（26回）、一般平日教室（20回）、親子体験教室（6回） リピーター向け中級コース 1日ツーリングコース（9回）、レスキュートレーニングコース（7回）、横浜港満喫ツーリングコース（7回） 大学シーカヤック開催協力（神大、市大）</p>
カヌーポロ教室（4月～10月）	<p>【NPO法人横浜カヌー倶楽部、横浜市カヌー協会と連携したカヌーポロ教室の開催】 子供及び一般向け教室（14回） 第8回帆船日本丸カヌーポロ大会（兼関東ポロリーグ神奈川大会）開催（6月）</p>
帆船日本丸のライトアップとイルミネーション	<p>ライトアップとイルミネーションの実施（毎夜）</p>
パーク利用事業	<p>フリーマーケットなど自主事業として定期的なイベントを開催 横浜市のプロモーション事業と連携したイベントの誘致 東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントの誘致</p>
ミュージアム・ショップ事業	<p>施設開館日に開店し、思い出となる様々な商品を販売 毎月ショップ検討委員会を開催</p>
レストラン・カフェ事業	<p>横浜みなと博物館内で施設開館時間に飲食を提供 季節に応じてアリーナや芝生広場でのビア・ガーデン等を運営</p>
(4) 緑地管理及び研修施設事業	
緑地の維持管理・活用	<p>【安全管理・美化】 定期的な樹木の剪定、芝生の刈込 パーク内一円の清掃作業（毎日） ドック及びシーカヤックパークの水面清掃 プランター及びボックス花壇への草花の植替え グリーンボランティアと協働作業（月2回） みなとみらい21地区まちかど花壇への協賛 桜木町駅前美化清掃活動への参加（毎月）</p> <p>【撮影】 撮影日時の柔軟な対応 控室（訓練センター会議室）の提供 要員等受付体制の充実 製作会社や撮影担当者からのきめ細かいニーズを把握 メモリアルパーク内が撮影の適地であることをWeb等で積極的にPR 特に、芝生広場から海側へのロケーションの良さをPR</p>

緑地の貸出	受付開始時期を6か月前から実施 午前のみ利用料金を継続
研修施設（訓練センター）の管理運営（貸会議室）	駅から近い、リーズナブル、使いやすいなどの利点をPR 6か月前からの予約開始サービスを継続 Webからの予約受付を試験的に開始 什器類の計画的な更新などによるリピーター利用者数の増 昨年度の机とイスの更新に伴うWeb及びパンフレットの更新

(5) 集客増に向けた重点取組

マーケット別取組	<p>1 法人マーケット(B2B・B2B2C)への取組(通年)</p> <p>(1) 教育旅行マーケットへの取組</p> <p>ア 日本修学旅行協会発行の学校向け『月刊教育旅行』への修学旅行誘致のための広告掲載継続(毎月)</p> <p>イ 観光経済新聞社「高校生」修学旅行特集への修学旅行誘致のための広告掲載(4月)</p> <p>ウ 首都圏・関東地区の小・中・高等学校の遠足、学校行事誘致のための同地区の各旅行会社への営業及び全国からの修学旅行誘致のための横浜観光コンベンションビューローとの各地域・地方都市への連携営業(年2回程度)</p> <p>エ 首都圏、関東、中部地区、東北地区及び北海道の小中高等学校へのDM継続実施(4月・9月計約5,200通)</p> <p>オ 首都圏・関東圏内自治体(主に教育委員会等)への学校団体利用誘致のための新規営業(通年)</p> <p>カ 帆船日本丸・横浜みなと博物館を利用した「キャリア教育プログラム」のブラッシュアップ及び新たな販売促進策の実施(4月～9月)</p> <p>(2) 企業・団体等法人マーケットへの取組</p> <p>ア JTB団体用企画商品「JTBならではの」への参画継続(通年)</p> <p>※「JTBならではの」とは、JTBのみで団体用に販売できるコンテンツ・プログラムを展開し、全国のJTB及びJTB提携販売店の法人営業担当者が販売。当施設では、帆船日本丸の教育プログラムを提供し、JTBで中華街レストランでの昼食を組んだ専用商品を展開</p> <p>イ 旅行会社のカルチャーツアーへのプログラム・コンテンツ開発・提供による個人向け旅行販売を通じた集客への新規取組(各社の商品造成時期)</p> <p>ウ 緑地・パークを利用したイベント誘致・撮影、横浜みなと博物館特別展示室利用拡大のための新たな企画提案ツール作成とエージェント・法人直販新規営業(通年)</p>
----------	--

エ 帆船日本丸青少年錬成事業「出前海洋教室」・横浜みなと博物館アウトリーチ活動との連携による企業・団体活動プログラムとしての利用・導入に向けた新たなプロモーション施策の実施とエージェント・法人直販新規営業（通年）

オ 利用提携法人・団体の個人需要拡大に向けた利用提携販売の継続・深耕拡大、新規提携獲得に向けた営業の実施（通年）

カ 企業・団体等法人のMICE事業におけるMICE関連案件（アフターコンベンション等）に対応する柔軟な施設・パーク利用への新たな取組及びパシフィコ横浜・横浜観光コンベンションビューロー等近隣諸施設や諸機関との連携強化、エージェント・法人直販新規営業（通年）

2 個人マーケット(B2C)への取組（通年）

(1) オンライン販売チャネルへの新規取組

チケットレス・キャッシュレス入館券（E-ticket）の財団Webサイト上でのWeb販売（国内直販・外販）開始（4月）（WebサイトやSNSなどでの情報発信の充実含む）

(2) リアル販売チャネルへの取組

ア 横浜市内各地域施設（地区センター・図書館等）へのタイムリーなイベント情報・施設情報提供による認知度向上等来館促進のための横浜市との連携販売継続・強化（通年）

イ 回遊促進のための近隣ホテル（新設含む）・施設（博物館・美術館等）との共同企画実施・連携販売の継続・深耕拡大及び新設ホテルへの新規営業（通年）

3 外国人マーケット(B2B・B2B2C)への取組

(1) 販売チャネルの拡充

ア オンライン販売チャネルへの新規取組

チケットレス・キャッシュレス入館券（E-ticket）の財団Webサイト上でのWeb販売（海外外販）開始（6月）（WebサイトやSNSなどでの情報発信の充実含む）

イ リアル販売の継続取組

パシフィコ横浜や近隣ホテル・施設への英語版施設案内・イベントチラシ配布による告知・販売の実施（通年）（ホテルと連携したプラン造成含む）

(2) シーズン施策の実施（継続・新規）

外国観光客の多い夏休み期間（東京2020オリンピック・パラリンピック期間含む）の外国人客（訪日・在日）向けキャンペーンの継続と

	<p>販売促進加重策の実施（7月～10月）</p> <p>ア クルーズ船入港に伴う販売促進 クルーズ船入港増に合わせて横浜観光コンベンションビューロー等地域諸施設や諸機関と連携、新たなプロモーション施策への取組</p> <p>イ 国内のインターナショナルスクールからの誘客 春・秋の課外活動及び夏休み期間中の誘客のための新たなプロモーション施策の実施並びに新規営業（4月・9月）</p> <p>(3) 外国人客へのサービス向上のための環境整備 外国人客へのサービス向上のための帆船日本丸・横浜みなと博物館への多言語化ガイドシステム【QRトランスレーター（13か国語対応）】の新規導入（5月）</p> <p>(4) 海外エージェント・インバウンドエージェントへの営業及びプロモーション施策の実施 横浜観光コンベンションビューローとの連携による国内・外の旅行博覧会・訪日旅行商談会等への積極的参加及び海外エージェント・インバウンドエージェントへの情報提供・誘致のための営業・販売促進への新たな取組（通年）</p>
<p>広報・宣伝への取組（通年）</p>	<p><u>報道機関への取組</u> 新聞社、TV・ラジオ局等へのより多くの積極的な情報発信及び掲載率UPのための営業実施</p> <p><u>WebサイトとSNSへの取組</u> WebサイトとSNSの効果的活用による広報の実施とWebサイトにおける利用者利便性（見やすく分かりやすい）を追求した企画展・展覧会、募集型事業、キャンペーン等の各種情報の提供及びSNSによる利用者動向の分析結果を踏まえた利用者には有益・有用な情報発信の実施</p> <p><u>ガイドブック・専門誌及び地域誌への取組</u> 「るるぶ」「まっぷる」を始めとする旅行雑誌、「ミレア」を始めとする地域誌等への通年の情報提供及び月間「教育旅行」や「MM線沿線マップ」、「サイエンスサマー」等への広告を通じた情報提供の実施</p> <p><u>旅行会社への取組</u> JTBグループを始めとする旅行会社、JR東日本を始めとする鉄道各社旅行部門への定期的な情報発信及び個人・団体観光客への情報提供や集客チャネルとしての連携強化に向けた情報発信の実施</p> <p><u>海外メディア等への取組</u> 横浜観光コンベンションビューローとの連携による海外で開催される観光展等での海外メディアへの情報提供の実施</p>

	<p><u>情報発信ツールへの取組</u></p> <p>多様なマーケット及び各広報・宣伝先への情報発信ツールとしての施設プロモーション用動画の製作開始並びに営業用プロモーションツールへの転用展開によるビジュアル提案の充実化及び自社Web、スマートフォンへの転用展開による情報発信の効率化・スピード化・グローバル化への取組強化</p>
<p>(6) 組織運営の質的向上に向けた取組</p>	
風通しの良い職場づくり	管理職業務調整会議及び職員ミーティングを毎週木曜日に開催
研修の実施	<p>職員及び臨時職員向けに研修を実施します。</p> <p>防災訓練 9月～10月、文化財防火デー訓練 1月、みなとみらい21地区合同防災訓練を3月に実施します。</p> <p>コンプライアンス、個人情報保護等の全職員研修を2月～3月に実施します。</p>
コンプライアンスの順守	研修や朝礼等により意識の向上を図るとともに、コンプライアンス委員会を12月頃開催します。